

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公表番号】特表2015-531528(P2015-531528A)

【公表日】平成27年11月2日(2015.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-067

【出願番号】特願2015-536987(P2015-536987)

【国際特許分類】

G 06 Q 40/06 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 40/06 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータによって実行される、将来の退職費用指数の指數レベルを決定する方法であって、

少なくとも1つの有価証券からの定期的収入であって、将来の投資日に開始され、死亡率に従って決定される終了日まで継続する複数の支払いを含む前記定期的収入の目標リターンを決定するステップと、

前記複数の支払いに基づいた利回り曲線であって、前記将来の投資日から前記終了日までの前記支払いの変動をモデル化する前記利回り曲線を決定するステップと、

利回り曲線に基づいた割引関数を前記定期的収入に適用するステップと、

前記割引関数を前記定期的収入に適用した、前記定期的収入の正味現在価値を決定するステップと、

前記決定した正味現在価値に基づいて、前記将来の退職費用指数の前記指數レベルを設定するステップと、

を含む方法。

【請求項2】

割引関数は、

B B B 格付けの社債の利回り曲線とA A 格付けの社債の利回り曲線との相違の半分に等しい第1の値に、米国財務省長期証券の利回り曲線を加えて、第1の合計を求めるステップと、

誤差項の関数である第1の固定スプレッドを前記第1の合計から引くステップと、

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記割引関数は、前記死亡率の調整に対応するリスクチャージによって、さらに調整される、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記割引関数は

B B B 格付けの社債の利回り曲線と、A 格付けの社債の利回り曲線との相違の半分に等しい第1の値に、米国財務省長期証券の利回り曲線を加えて、第1の合計を求めるステップと、

誤差項の関数の第1の固定スプレッドを前記第1の合計から引くステップと、  
を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記割引関数は、前記死亡率の調整に対応するリスクチャージによって、さらに調整される、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記終了日は、投資者の退職年齢に相当する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記終了日は、投資者の80歳を超える年齢に相当する、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記投資日以降の前記複数の支払いの各支払いに、生活費調整を加えるステップと、  
前記生活費調整に基づいて、前記指標レベルを調整するステップと、  
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記投資日以降の前記複数の支払いの各支払いから一部を除去して、条件付き平均寿命  
を反映させるステップと、

前記除去に基づいて、前記指標レベルを調整するステップと、  
をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

少なくとも1つの有価証券を含む退職資金の将来費用を作成するステップをさらに含み、  
前記退職資金のシェア（持分）は、前記指標の値を含み、前記退職資金の前記少なくとも  
1つの有価証券は、

デュレーション、キーレートデュレーション、および、前記終了日に購入されるモデル  
年金の定期的収入に対応する利回りを特定することと、

前記モデル年金のデュレーション、キーレートデュレーション、および、前記モデル年  
金の利回りに近い利回りを有する有価証券のセットを特定することと、  
によって選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項11】

コンピュータによって実行される、将来の退職費用指標に基づいた投資商品を提供する  
方法であって、

少なくとも1つの有価証券からの定期的収入であって、将来の投資日に開始され死亡率  
に従って決定される終了日まで継続する複数の支払いを含む前記定期的収入の目標リターン  
を決定するステップと、

前記複数の支払いに基づいた利回り曲線であって、前記将来の投資日から前記終了日ま  
での前記支払いの変動をモデル化した前記利回り曲線を決定するステップと、

利回り曲線に基づいた割引関数を前記定期的収入に適用するステップと、

前記割引関数を適用した前記定期的収入の正味現在価値を決定するステップと、

前記決定された正味現在価値に基づいて前記将来の退職費用指標の指標レベルを設定す  
るステップと、

各シェア（持分）が前記指標の値に基づいた価格を有する複数のシェア（持分）を含む  
退職資金の将来費用を作成するステップと、を含み、前記退職資金は、

前記終了日に前記指標レベルに近い定期的収入を有する年金を前記終了日に購入する  
ようにモデル化することと、

モデル年金のデュレーション、キーレートデュレーション、および、利回りを推定す  
ることと、

前記モデル年金の前記デュレーション、前記キーレートデュレーション、および、前  
記利回りに少なくとも部分的にに基づいて、前記退職資金のための前記有価証券を選択す  
ることと、

を含むプロセスによって、前記退職資金のために選択された1つまたは複数の有価証券を  
保持する、

将来の退職費用指數に基づいた投資商品を提供する方法。

【請求項 1 2】

前記割引関数は、

B B B 格付けの社債の利回り曲線と A A 格付けの社債の利回り曲線との相違の半分に等しい第 1 の値に、米国財務省長期証券の利回り曲線を加えて、第 1 の合計を求めることと、

誤差項の関数である第 1 の固定スプレッドを前記第 1 の合計から引くことと、  
を含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】

前記割引関数は、

B B B 格付けの社債の利回り曲線と A 格付けの社債の利回り曲線との相違の半分に等しい第 1 の値に、米国財務省長期証券の利回り曲線を加えて、第 1 の合計を求めることと、

誤差項の関数である第 1 の固定スプレッドを前記第 1 の合計から引くことと、  
を含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 4】

投資日以降の前記複数の支払いの各支払いに生活費調整を加えるステップと、  
前記生活費調整に基づいて前記指數レベルを調整するステップと、  
をさらに含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 5】

前記投資日以降の前記複数の支払いの各支払いの一部を除去して、条件付き平均寿命を反映させるステップと、

前記除去に基づいて前記指數レベルを調整するステップと、  
をさらに含む、請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 6】

コンピュータによって実行される、将来の退職費用指數に基づいた投資商品を提供する方法であって、

少なくとも 1 つの有価証券からの定期的収入であって、将来の投資日に開始し、死亡率に従って決定される終了日まで継続する複数の支払いを含む前記定期的収入からの目標リターンを決定するステップと、

利回り曲線に基づいた割引関数を前記定期的収入に適用するステップと、

前記定期的収入に前記割引関数を適用した正味現在価値を決定するステップと、

前記決定した正味現在価値に基づいた将来の退職費用指數の指數レベルを設定するステップと、

各シェア（持分）が前記指數の値に基づいた価格を有する複数のシェア（持分）を含む将来の退職資金の将来費用を作成するステップと、を含み、前記退職資金は、

前記終了日に購入され、かつ、前記指數レベルにほぼ相当する定期的収入を有する年金をモデル化することと、

前記モデル化された年金のデュレーション × スプレッドを推定することと、

前記モデル化された年金の前記デュレーションと、前記デュレーション × スプレッドとに、少なくとも部分的に基づいて前記退職資金のための前記有価証券を選択することと、

を含むプロセスによって前記退職資金のために選択された 1 つまたは複数の有価証券を保持する、

将来の退職費用指數に基づいた投資商品を提供する方法。

【請求項 1 7】

前記割引関数は、

B B B 格付けの社債の利回り曲線と A A 格付けの社債の利回り曲線との相違の半分に等しい第 1 の値に、米国財務省長期証券の利回り曲線を加えて、第 1 の合計を求めるステップと、

誤差項の関数である第 1 の固定スプレッドを前記第 1 の合計から引くステップと、

を含む、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記割引関数は、

B B B 格付けの社債の利回り曲線と A 格付けの社債の利回り曲線との相違の半分に等しい第 1 の値に、米国財務省長期証券の利回り曲線を加えて、第 1 の合計を求めるごと、誤差項の関数である第 1 の固定スプレッドを前記第 1 の合計から引くごと、

を含む、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 1 9】

前記投資日以降、前記複数の支払いの各支払いに生活費調整を加えるステップと、

前記生活費調整に基づいて、前記指數レベルを調整するステップと、

をさらに含む、請求項 1 6 に記載の方法。

【請求項 2 0】

前記投資日以降、前記複数の支払いの各支払いから一部を除去して、条件付き平均寿命を反映するステップと、

前記除去に基づいて前記指數レベルを調整するステップと、

を、さらに含む、請求項 1 6 に記載の方法。